

保護者の皆様

令和3年度「全国学力・学習状況調査」「大阪府 すくすくウォッチ」の結果について

千早赤阪村立千早小吹台小学校
校長 仲村 悦弘

6年生（5年生は すくすくウォッチのみ）を対象として、今年度5月に実施しました標記の調査結果と課題、改善点について報告いたします。

本校は、参加する人数が少なく、個々の結果も全体の集計に大きく反映されるため、全体傾向を分析しにくい特徴があります。また、調査結果は、子供たちが身につけるべき学力の一部であり、これによって子供たちの学力の全てを評価できるものではありません。ですが、この結果分析を通して、成果と課題を把握検証し、更なる子供の学力向上、授業改善に取り組んでいきますので、ご理解ご協力のほどよろしく願いいたします。

○調査の対象

小学校5・6年

○調査の内容

全国学力・学習状況調査（6年生）

- ・国語、算数…前学年までの指導内容や、実生活で活用できる知識・技能、課題解決のために実践できる力等に関わる内容
- ・生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

大阪府 すくすくウォッチ（5・6年生）

- ・国語、算数、理科…前学年までの指導内容（5年生）
- ・わくわく問題…教科横断型問題（5・6年生共通）
- ・生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（5・6年生共通）

○全国学力・学習状況調査の結果について

国語



課題のあるところ

- ・目的に応じて、文章と図表を結び付けて必要な情報を見付ける事ができるかどうかをみる問題
- ・目的を意識して、中心となる語や文を見付け要約する事ができるかどうかをみる問題
- ・目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する事ができるかどうかをみる問題

全体として大阪府や全国平均をやや下回りました。

「書くこと」の領域は、大阪府・全国平均を上回っていましたが、「話すこと・聞くこと」「読むこと」の領域が、大阪府・全国平均を下回りました。

今後の課題として、「中心となる語や文を見付けて要約する」「限られた字数（50字～80字など）で自分の考えが伝わるように書く」「結論から書き始める練習をする」ことができるために、よく「読む」「話す・聞く」学習活動の重視が挙げられます。

算数

課題のあるところ

- ・複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、面積の求め方と答えを、式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる問題
- ・帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴を持った項目とその割合を、言葉と数を用いて記述できるかどうかを見る問題
- ・小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題

全体として大阪府・全国平均を下回りました。

「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」の全ての領域において、大阪府・

全国平均を下回りました。

今後の課題として「立式したその数字が何を表しているのかを考え『言葉の式』を書けるようにする」「自分の考えを簡素にまとめて記述する力をつける」「解き方の指定や解答例をもとに『答え方』を理解し、そのうえで自分の考えを書く問題に取り組む」が挙げられます。



○大阪府 すくすくウォッチ（５年生）について【概要】

・国語、算数、理科、わくわく問題

全てにおいて、大阪府の平均を上回っていました。

○大阪府 すくすくウォッチ（６年生）について【概要】

・わくわく問題

大阪府の平均を上回っていました。

今後の授業改善の取り組み

- ・学校全体で学力学習状況調査等の結果を共有し、「学力向上・研修部」を中心に指導の充実や授業改善を図っていきます。
- ・授業の質の向上として、全ての学年で授業スタンダード（「めあて」を明確にし、児童が「自分の考え」を持ち、「まとめ」と「振り返り」を大切にした授業づくり）を大事にし、自学自習ノートと、普段のノートの指導を充実していきます。
- ・少人数による授業を通し、学習したことを、人に伝えたり言葉や式などで表したりする力をつけるための学習展開の工夫をしていきます。
- ・「千早赤阪村 小学生 活用テスト(仮称)」の作成・実施を通し、広く算数的な力を測る問題を解決できる児童の育成の為に、千早赤阪村教育委員会・赤阪小学校と連携します。

学習状況アンケートについて



- ・「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」「人が困ったときは、進んで助けていますか」などの質問には「当てはまる」「どちらかといえば、あてまはる」の肯定的な回答を、全員の児童が選択しました。正しい価値判断、努力や思いやりを持ち合わせていることが伺われます。
- ・「あなたの学級では、学校生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」「学級活動における話し合いを生かして、今自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか」などの質問でも、ほとんどの児童が肯定的な回答を選択していました。集団との関わりを通して、自分や仲間が高め合っていることが伺えます。
- ・反面、「夢や希望を持っていますか」の質問は、全国や府の平均と比べると、若干低くなっていました。今の努力や他者への関わりをしっかりと認めてあげ、将来、夢や自信をもって生活できるような学習や取り組みを、学校生活の様々な場面で計画的に進めていきます。

終わりに

学校では、授業研究や公開授業、大学教授等を招聘しての指導力向上研修、大阪府教育センター等での研修、各種研究発表大会への参加などを通して授業力を高め、児童の思考力、判断力、表現力を高めるよう授業改善に取り組んでおります。ご家庭でも学習に集中できるよう、生活リズムを整え、認め、励まし対話のある温かい家庭環境づくりに努めていただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

